

平成二十八年度 九州歯科大学歯学部 大学院入学式  
歯学科第六十八回、口腔保健学科第七回、大学院第五十一  
回 第三回入学式

式辞

本日、希望に満ちあふれる新入生の皆さんを九州歯科大学に迎えることができ、この上もない喜びを感じております。歯学部歯学科、口腔保健学科および大学院歯学研究科に入学した皆さんに対して、九州歯科大学の教職員を代表して、ようこそ九州歯科大学へという言葉を送ります。また、これまでの成長を見守ってこられた保護者の皆さまもさぞかしお喜びのことと存じます。教職員を代表して、入学生諸君が社会に貢献する歯科医療人となる道のりをしっかりと支えることをお約束申し上げます。

本日の入学式には、小川洋福岡県知事をはじめ、かくも多数のご来賓のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。九州歯科大学は、我が国にある二十九の歯科大学および歯学部の中で、唯一の公立大学として、百年余という長い歴

史と伝統、ならびに輝かしい実績を持って、歯科医学および歯科医療の発展に大きく貢献してまいりました。九州歯科大学は、平成十八年に公立大学法人として歩み始め、早いもので、十年という区切りの年を迎えました。そのようななか、昨年十月に、あらたに、九州歯科大学憲章を制定し、次世代を担う歯科医療人の育成に向けて、これまでの3つの基本理念に加え、6つの教育研究目標を掲げ、実践的な歯科医療人の育成に力を注いでまいります。さらに、憲章の前文に、「平成二十六年の創立百周年を機に九州歯科大学は、次なる世紀に向けて患者中心の歯科医療が提供できる人材の育成を第一義に掲げ、学生、教員、職員の3者が一体となって、理念の共有と目標の実現を目指します」と謳いあげました。本日、入学した両学科の学生諸君が、このような環境のもとで教育を受け、高い志をもった歯科医療人として社会に巣立つことができるよう教職員一丸となって取り組むことをここであらためてお約束します。

さて、現在、九州歯科大学は、時代の流れに即した継続的な教育改編を進め、専門的医療人、すなわちプロフェッションの養成を重要視した教育を行っています。昨年度、大学として、教育体制をより系統的な形に再編していくこ

とを目的に、学長をセンター長とした歯科医学教育センターを設置しました。この組織では、医療系大学における教育の3つの柱である知識・技能・態度教育を有機的に連携する教育システムの構築を目指します。とくに、二十一世紀に入り、医療系大学において、世界的なレベルで、プロフェッショナルリズム教育およびアウトカム基盤型教育が重要視されています。このような医療系大学における教育改編の潮流をいち早くとらえ、歯科医療人としてのプロフェッショナルリズムの涵養を掲げ、患者優先の考え方に立って歯科医療が行える人材の育成を重要視した教育を展開していきます。このような教育を通じ、高い倫理観に裏打ちされたヒューマニズムの精神、さらには、自己の利益よりも他者の利益を優先するという利他主義を兼ね備えた歯科医療人養成を第一義に考え、優秀な人材を社会に輩出してまいります。

このような話しをしたうえで、本日、入学した新入生の皆さんにお願いです。諸君は、将来歯科医療人として社会に貢献するという強い意志と高い志を持って、本学に入学したと信じています。これから先、九州歯科大学における大学生活において、自らを律した、すなわち自律した大学生活を送り、本当の意味でのプロフェッションとして

社会に貢献するという強い意志を持ち続け、主体的に自分の日々の勉強に励んでいただきたいと思います。常に、夢と希望を失うことなく、社会に貢献する歯科医療人となることを願っています。次に、大学院に入学する学生諸君に申しあげます。どのような学問領域であっても、それを支えているのは研究です。今後、歯学研究科における大学院生として、修士課程および博士課程で、研究生活を送ることになりますが、歯科医学に貢献する研究者として、生命科学における高度の研究能力ならびにその礎となる豊かな学識を養ってください。その際、自らに課題を課し、その問題解決に自主的の取り組む研究者を目指してください。そして、大学院修了時には、口腔保健を通じて国民の健康増進活動に貢献し、これから求められる地域包括医療において優秀な臨床医として、さらにはそれを支える研究者として活躍することを強く願っています。

さて、ここで、現在、九州歯科大学で推進している Think globally, act locally 「世界規模で考え、足元から行動せよ」について、お話します。まず、ローカルという観点からのご紹介です。現在、超高齢社会となった我が国において、地域包括医療という視点で、多職種連携という形での医療体制作りが強く求められています。多くの医療系大

学では、この動向を踏まえて、特色ある教育体制を構築しています。本学においては、先に述べた「歯科医学教育センター」で、行動目標の柱にこの問題解決を掲げ、より地域に密着した大学を目指しています。あわせて、地域包括医療を視野に入れた医科歯科連携教育を展開することを重要視して、社会が求める新たな人材を育成します。二十一世紀の歯科医学を背負う学生諸君には、先駆け的な教育を目指す本学で歯科医学教育を受け、歯科医療界のフロントランナーとして活躍することを切に願っています。

平成二十七年度、北九州市内の十大学が連携して、地域に密着した教育活動を展開するということを目的にした文部科学省 COC プラスプロジェクトが採択されました。そのなかで、九州歯科大学は、一つのプロジェクト「北九州地区 CCRC による高齢者 QOL ビジネス創出」を担当し、五年間の事業プランのなかで、北九州ひいては福岡県内で、高齢者の生活の質の向上を目指す CCRC 事業を展開します。ここで言う CCRC とは、continuing care retirement community の略称で、その意味するところは、退職者の生活の向上を目指し、健康長寿を実現するために継続的な事業を展開することであり、そのためには、多職種が連携して活躍する土壌の醸成が求められます。さらに、この CCRC 事業に関連して、本学が福岡県に提案した平成二十八年度

福岡県重点施策が採択され、4月1日に、本学附属病院内に、「口腔保健・健康長寿推進センター」を設置しました。今後、福岡県歯科口腔保健支援センターと連携して、福岡県の地域包括ケアシステムの構築の一役を担うべく活動していきます。このような活動を通じて、大学イノベーションを継続させ大学の活性化を推進していきます。

次に、グローバルな視点についてお話します。九州歯科大学は、現在、ミャンマーの2つの歯科大学、ヤンゴン校およびマンダレー校、台湾の高雄医科大学、香港大学、タイのシーナカリンウイロート大学、ランシット大学、インドのスリラマチャンドラ大学、フィンランドのヘルシンキ大学、カナダのブリティッシュコロンビア大学、あわせて9大学の歯学部と教育連携協定を結び、学生と教員の連携を深める海外活動を行っています。昨年の4月から、歯科医学教育センター内に設置した海外連携推進室が九州歯科大学基金を活用する形で、夏季休暇中に、歯学科の学生がタイのシーナカリンウイロート大学歯学部で研修生活を送り、口腔保健学科の学生が高雄医科大学歯学部で研修を行ってきました。その一方で、タイおよび台湾から歯学部学生が来学し、本学で短期研修を行なっています。まさに、双方向型の海外連携活動がスタートし、新たな海外

連携教育環境が調いました。さらに、今年度、タイからの二人目の留学生である Boat 君が、大学院に合格しました。

(Boat, welcome to Kyushu Dental university. I hope you have a lot of meaningful and exciting time during the study at graduate school of our university ) よいよ、九州歯科大学が Global and Local Academic Collaboration を掲げ、口腔の総合大学を目指すというプロジェクトがより充実したものになっていきます。今年入学した皆さんは、このような良いめぐりあわせを大事にして、グローバルな視野を持った歯科医療人になることを切に願っています。

さらに、九州歯科大学は、ミャンマーの2つの歯科大学と興味深いプロジェクトを展開しています。本学は、この2大学とともにミャンマー政府保健省と連携協定を結び、今後、経済成長に伴う砂糖の消費量の増加により懸念される齲蝕の発症を予防するために、パーソナルプリベンションとソーシャルプリベンションの両面からの取り組みを進めていきます。具体的には、九州歯科大学が検診活動やフッ素洗口等で予防活動を展開し、ミャンマーの保健行政への提言などの実際的な活動を行なう予定です。

むすびに、我が国の近代経済社会が成立した明治時代に活躍した実業家である渋沢栄一氏は、「新しい時代には新しき人物を養成して、新しき事物を処理せねばならない」という名言を残しています。歯科の世界を取り巻く環境が大きく変化していると言われて久しい今、まさに、これからの歯科界で新時代を切り開くのは、君たち一人一人であるといっても過言ではありません。このような新時代を迎えるにあたり、本日入学する学生諸君に対して、それぞれが高い志を持ち、明日からの大学での学習および研究生活において、前向きに、そして、自ら考え、すべてのことに主体的に取り組むことを心から念願して、私の式辞といたします。

平成二十八年四月五日

九州歯科大学

学長 西原 達次